

# 清流の辺

令和6年1月12日  
丹波中学校 学校だより  
校長 古屋 修宏

## 令和6年スタート

1月12日（金）、三学期の始業式が行われました。

生徒たちの表情から、新年のスタートにあたり、新たな志を持つ清々しさを感じました。生徒の発表では、冬休みの楽しい思い出や、生活リズムを整え一日一日を大切にしたいという新年の抱負が話されました。

三学期は、一年間のなかでもっとも寒さ厳しい学期です。この三学期をがんばりぬけば、春がやってくると希望をもち、生徒たちと学習に励んでいきたいと思います。

3年生で数えますと40日間、その他の学年は49日間の短い学期になります。保護者の皆さまの引き続きの御支援を、お願いいたします。



三学期始業式

## 書きぞめ大会

1月12日（金）、三学期最初の日に、全校一斉の書きぞめ大会が行われました。指導者は、国語科の鈴木先生です。

お題は「実現」「輝く未来」です。

生徒たちは、鈴木先生の指導のもと、心静かに半紙に向かい、画やはらいに気をつけ、丁寧に作品を仕上げていました。

日本の伝統を感じる国語科の授業となりました。



書きぞめ大会の様子

## 正月飾り 丹波山村文化財保存会

年の瀬も迫った12月末、丹波山村文化財保存会の皆さんが、丹波中学校正面玄関に正月飾りを飾ってくださいました。

この松飾りは、1月7日に行われる丹波山村伝統のお松引きにて道祖神まで運ばれ、一週間後のお松焼きにて燃やされるとのことです。

丹波山村文化財保存会の皆さん、ありがとうございました。



丹波中玄関に飾られた松飾り